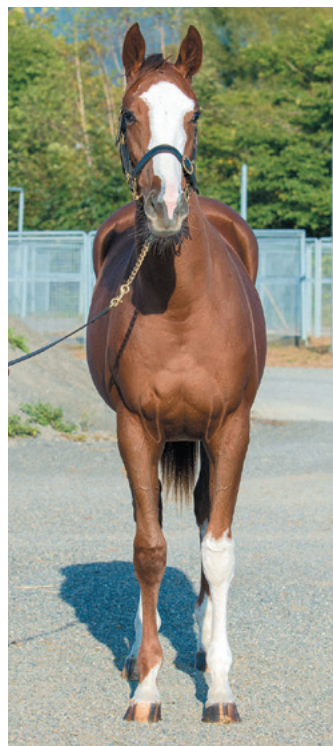


ビジュートウショウの21

メス 2021年4月5日生 | 栗毛 | 栗東・庄野靖志厩舎 | 聖心台牧場生産



一口価格： **19,800円** ※2023年保険料 634円 募集口数：500口【競走馬出資金総額 990万円】



POINT

父はジャパンカップ優勝馬、母の父はダービー馬、そして祖母は宝塚記念の優勝馬。本馬のきらびやかな血統背景からは芝の大舞台での活躍をイメージせずにはられません。1歳夏の時点では幼さの残るコロシとした体付きですが、時間とともにメリハリのある馬体に変化し、秘めた成長力を見せてくれるでしょう。顔の流星、四肢の白ソックスが特徴的な本馬。見た目だけでなく、ド派手な走りを大舞台で見せつけ、観客を魅了してくれることを願います。

治郎丸敬之の馬体診断

母は四白流星のド派手なルックスの馬でしたが、ビジュートウショウの21は四白ながらもソックスの長さをましまちに履き、流星はさらに太く、かなりクセが強い印象を受けます。祖母であるスイートウショウもそうであったように、額に流れる太い流星は、この母系の特徴である気の強さを象徴していると僕は考えています。ビジュートウショウの21にも遺伝しているであろう気性の激しさを、扱う人間側が気の強さに変えてくれることを願います。父スワーヴリチャードはハーツクライというよりも母父アンブライドルズソングらしさを産駒に伝えているように、ビジュートウショウの21の前軀にはしっかりと実が入り、立派な胸前を誇っています。それに対して、母もそうであったのですが、トモの実の入りには若干の課題が残ります。腹回りに余裕を持たせながら育成を重ね、トモに実が入ってくるまでじっくりと待ってもらいたいです。背中 of 長さ標準的ですから、距離はマイル前後を中心として走るはず。もちろん、デビューは芝でしょうが、前軀の力強さを見るにつけ、ダートでこそ本馬の本領は発揮されるかもしれません。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。